

こんなにもスマホ（スマートフォン）が日本の社会また世界を席卷した時代に逆行するようなことを書くのは天邪鬼か、はたまた日進月歩の通信機器のハイテクについていけない年寄りのひがみかもしれません。

どこの駅のホームまた電車内でも 10 人中 5 人以上はスマホを操作しています。周囲にまったく関心を寄せずその世界に浸っている。歩道では向こうからハイヒールの若い女性が左手に持った器械を右手で操作しながら歩いてくる。こちらから歩いていく人間には目もくれない。危うくぶつかりそうになる直前に身をかわす。美人だったらぶつかってもいいんだけど・・・



私はスマホを持っていません。年金生活者には器械も使用料金も高い。それに年寄りには難しくて使いこなせないような気がするからです。実は今持っている携帯電話も使いきれていない。メール機能を故意に Off にしてあるからです。定年になって間もなくシニア向けのドコモの「らくらくホン」を買ったのですが器械自体が重い。内ポケットに入れると重さで垂れ下がるようになるので、めったに携帯することはなく、誰かとの待ち合わせとか、こちらから発信が必要な時だけ携帯するようにしています。



なによりも、パソコンでは 10 本の指を使うブラインドタッチ（カッコいいこと言っちゃって・・・でも本当なんです。タイプライターの時代に一生懸命練習してマスターしました）。それをメールを打つのに「指 1 本での操作なんて能率の悪いことには付き合いきれないよ」なんて。これも天邪鬼かもしませんが・・・

つい先ごろの新聞報道によると、スマホの所持率は、男子高校生 80%、女子高校生では 95%。彼女らの 4 割が 1 日 6 時間以上のスマートフォンや携帯電話を使っているといえます。「テレビを見ながら」とか「ご飯を食べながら」という「ながら」利用は、女子高生の場合 4 割近く。「インターネットを止めようとしても止められない」という女子高生も 4 割近くいるともいいます。スマホがアヘンようになって手放せなくなり、勉強などが後回しになっている。



私は道路を歩いている時は、できるだけ心を開放するようにしています。周囲の景色の移り変わりを楽しみ、ただぼんやりと歩いているだけでも心の休息となり充実をはかれます。携帯電話を携帯していないもう一つの理由は、外からいつでも勝手にこちらの世界に入ってきてもらいたくない、との思いがあるからです。この歳をして緊急に何かをしなければならない、というのは殆どないでしょう。必要な用件があれば自宅の固定電話の留守録音に残してくれれば結構。その時点で対応します。この歳をしてそんなに緊急な用件もないでしょうから。



確かになんでも情報を入手できるスマホは便利この上ないでしょう。それでもいつも下を向いてスマホをいじっている若者たちに訴えたい。「人と話す。本を読む。物思いにふける、という時間と空間がなくなっているよ。自分の主体性がなくなりスマホに引き摺り回されているようにも見えますよ!」。うっかりしているとデジタルの奔流に溺れかかる時代に「手ぶら」の爽快さは貴重です。すべてから解放された“自分が主体者”の日があってもよいのではないかと思う昨今です。